



▼ 会員増強に思う

「新クラブ誕生の喜び」

関東東部エクステンション委員長

金丸 満雄（東京ひがし）



1988年10月、東京ひがしワイズメンズクラブのチャーターメンバーとしてワイズメンとなり、32年となります。その間、幸運なことに3クラブの設立に携わることが出来ました。東京ベイサイドクラブと千葉ウエ

ストクラブは、設立準備委員会スタートから携わり、誕生に立ち会うことが出来ました。

東京ベイサイドクラブの時は、設立条件としてメンバー15名以上の時代でしたので、人集めに苦労しました。しかし、東京YMCAしのめこども園・堀江和広園長の勧誘努力により、17名のメンバーが集まり、2014年9月誕生に至りました。

千葉ウエストクラブ設立は、定款改定により設立メンバー5名以上となってハードルが下がり、8名のメンバーが集まり、2020年10月にコロナ禍の中誕生いたしました。

東京ベイサイドクラブは、開発の進んだ湾岸エリアに若いメンバー中心に、そして千葉ウエストクラブは、船橋教会を拠点にシニア中心とした対照的なクラブですが、活動に期待します。

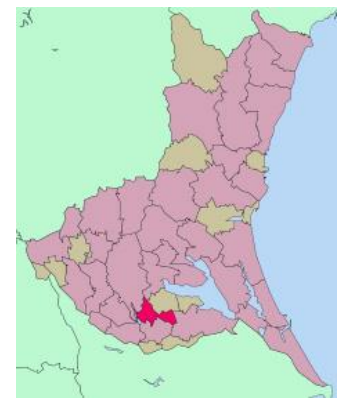
定款が改定され、5名以上のメンバーで新クラブ設立ができることになりました。賛否様々な意見がありますが、好条件を生かし、例えば教会に集う人、リーダーOB、趣味を同じくする者等々、候補者5人以上を集めてクラブを設立し、徐々にメンバー数を増やしていくのも一策と考えます。Change! 2022プロジェクト目標達成に向けて、“エクステンション＝クラブ拡張”で会員増強につなげましょう。

関東東部では、千葉ウエストクラブに続いて、茨城YMCA牛久センター「オリーブ保育園」（2020年開園）を拠点とする新クラブ設立を目指しています。茨城YMCA宮田康男総主事の新クラブ設立への熱意を受け、牛久の地に蒔かれた種を育て、Change! 2022プロジェクトとして開花（設立）に向け、希望をもって準備を進め、新クラブ誕生を喜びたいと思います。

▼ 茨城県牛久はこんなところ

東京都心からおおよそ50キロ程度の位置にあり、JR常磐線牛久駅を中心とした地域は、東京のベッドタウンとして宅地開発が進み、人口が増加しました。現在は東京だけでなく、筑波研究学園都市のベッドタウンともなっています。人口約8.5万人。

市東部にある仏像の牛久大仏（地上高世界最大の“ブロンズ製”人型建造物）は、ギネス世界記録に「世界一の大きさのブロンズ製仏像」として登録されています。



【(左)牛久大仏、(右)茨城県地図の赤い部分が牛久市】

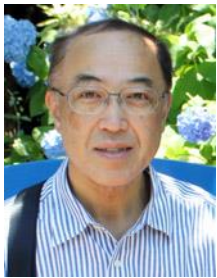
≪ 金丸満雄さんのプロフィール ≫

- 1947年11月 東京生まれ
- 1988年10月 東京ひがしワイズメンズクラブ
チャーターメンバーとして入会
- 1995-1996年 東京ひがしクラブ会長
- 1997-1998年 東日本区書記
- 2014-2015年 関東東部部長
- 2017-2019年 東京ひがしクラブ会長
- 2019-2020年 関東東部部長

▼ フレッシュワイズから見たワイズは・・・!

「体・心・脳、老化防止の実践」

坂口 直樹 (横浜つづき)



本年1月に横浜つづきクラブに入会させていただきました。昨年10月クラブ例会で情報セキュリティに関して卓話をさせていただき、メンバーの方々の楽しいコミュニケーションが始まりでした。それ以前に鈴木茂会長とはご近所同士のお付き合いがあり、何度も熱心にお誘いいただきました。また、YMCA健康福祉専門学校で社会福祉士の勉強をしたことでYMCAファンでしたし、それら全てのご縁が自然とつづきクラブ入会へ導いてくれました。

YMCAの価値である「愛と奉仕の実践」、「奉仕の心を地域社会にひろげる」は大変共感できます。私は高齢者年齢になり、健康維持(体)、社会とのつながり(心)、新しいものへの興味を失わないこと(脳)を老化防止と考えていますが、活動を通してそれを実現し、地域の共生社会にも貢献ができることを期待しています。メンバーの方々の暖かい歓迎の心を感じつつ、この世に生かされ、ワイズで活動できてよかったといえるよう一所懸命参加したいと思っています。

「世田谷ワイズに入会して半年」

三浦 功雄 (東京世田谷)



50年前、東京江東YMCAのボランティアリーダーをしていました。当時のスタッフは松野さん・木塚さん・向井さん・大村さんの4名の方々です。ワイズは元井さん・鈴木健次さん・柳沢さんなどが思い出されます。皆さんフレンドリーに接して下さい、楽しい思い出が沢山あります。

卒業後は仕事に没頭して、リーダーやスタッフの方々とも疎遠になってしまいました。2年半前に妻との死別と定年退職を迎えました。4年前からボランティアで病気の子供達のお手伝い(今はコロナ禍で中断中)・グリーンケアの学び・健康維持に時間を

費やしています。住まいは1年半前に世田谷の用賀にある有料老人ホームに入居しました。周囲から早すぎるとも言われましたが、終の棲家として気に入っています。江東Y元スタッフの浅羽さんとの再会や、東山荘家族キャンプ参加を経て、半年前に東京世田谷ワイズメンズクラブに入会しました。自分のペースを守りながら、細く長く続けられればと思っております。

費やしています。

住まいは1年半前に世田谷の用賀にある有料老人ホームに入居しました。周囲から早すぎるとも言われましたが、終の棲家として気に入っています。江東Y元スタッフの浅羽さんとの再会や、東山荘家族キャンプ参加を経て、半年前に東京世田谷ワイズメンズクラブに入会しました。自分のペースを守りながら、細く長く続けられればと思っております。

「ワイズメンズに入会しての感想」

内田 久昭 (千葉ウエスト)



ワイズメンズクラブは、地域のYMCAのサポーターとしての団体であること以外は、当初認識がありませんでした。千葉ウエストクラブ創設に際して例会に出席する毎に、ワイズメンズクラブが大きな組織を持っている国際的なクラブであることを認識しました。その後、嵐のような各地のワイズメンズクラブの活動報告に触れるたびに、えらいところに入会したと思いました。アルファベット略語に集約された種々の活動にも、圧倒されるばかりでした。そのような活動に刺激を受けることもあります。

まず足元である新生・千葉ウエストクラブが何をしようとするのか、多才なメンバーで活動の核を作ることが当面の課題だと思います。コロナ禍で具体的な活動の制限の故に、じれったい限りですが、この期間を有効に使い、考えていきたいと思っています。

また、他のクラブの活動を見るにつけ、長続きをする活動をするためには、ワイズに限らず他のグループとの協働が求められることを強く感じます。

また、他のクラブの活動を見るにつけ、長続きをする活動をするためには、ワイズに限らず他のグループとの協働が求められることを強く感じます。

「ワイズメンズクラブメンバーになって」

岡田 裕三 (千葉ウエスト)



昨年10月の千葉ウエストクラブ発足に際してメンバーになりましたが、コロナ禍の中で殆ど活動が出来ていません。これまで、サポート対象のYMCA及びワイズメンズクラブは、人と人のつながりを通して活動

が成り立ってきましたが、これまで経験したことの無い事態に遭遇し、活動が殆ど出来ていません。両者の存在自体微妙になっているように思います。ここはコロナ禍での YMCA の活性化に向け、英知を集結すべき時期と思います。コロナが収まるまで何も出来ないのであれば、ワイズメンズクラブの存在意義が無いように思います。

ここは、オンラインを駆使し、コロナ禍での YMCA のサポートの在り方をまとめるべきだと思います。幸いオンラインでは日本中の人とつながる事ができます。すでに成功体験を持っているクラブもあるかも知れません。又、コロナワクチンは高齢者の方が早く接種します。YMCA が本格的に始動する前にワイズメンズクラブが出来ることが多いと思います。

「 温かい人たちの集まりを実感 」

水越 正高 (甲府 21)



私がワイズに入会したのは 2019 年の初夏でした。YMCA の活動に兄弟が参加していた事や、幼少期からのボーイスカウト活動を通して、小さな頃より YMCA については認知しておりました。

青少年の育成・社会貢献活動に軸を置く YMCA を支えるワイズメンの活動へのお誘いを受けたのは、非常に良いきっかけをいただけたと感じております。社会人になってからというもの、同業種や小さなコミュニティでの交流が増える一方、年代・考え方・生き方・仕事・利害関係の枠を超えた関係性が薄れていっている感覚はありました。

緊張して参加した例会の日のことを今も覚えております……。甲府 21 のメンバーの皆さんは初めて参加した例会の日、メンバーの皆さんが優しく声をかけてくださいました。

その後も活動への参加を繰り返す毎に、温かい人達が集まり、社会奉仕や青少年の育成の為に活動していることを、身をもって体験したのです。甲府 21 クラブは、コロナ禍の中でも様々な対策やオンラインでの例会を企画、安全に配慮した中で活動を実施しております。

自らの形を積極的に変容させ、時代にあった形を模索できる行動力、様々な人が関わっているからこ

そスピード感を持って実行に移せるのではないでしょう。

新たな出会いがあるワイズとの関りの中で、多くの事に今後もチャレンジしていきたいと思います。

「 30 周年記念例会にて入会 」

小俣 寛 (甲府 21)



昨年 11 月、貴重なご縁をいただきながら、甲府 21 ワイズメンズクラブに入会させていただきました。入会に当たっては、幸運にもクラブ設立 30 周年記念例会とも重なり、緊張感漂う厳かな入会式であったことが強烈な印象として残っています。

入会後半年ほどが経過した現在、未だ 1 年間の活動の流れや具体的な内容なども見えていない状況ですが、様々な活動に積極的に参加し、会員の皆様と多くの時間を共有する中で、自分に何ができるのか模索していけたらと考えています。加えて、人と人との繋がりが希薄になることを余儀なくされる昨今、この逆境をチャンスと捉えて、これまでに無かった新たなスタイルの絆づくりの場を作り出していけたらとも思っているところです。

入会の折に耳にした「楽しくなくちゃワイズじゃない!」という先輩方の言葉を忘れず、力まず楽しみながら活動していきたいと思います。どうぞ、宜しくお願いいたします。

▼ 新入会員をご紹介します

会員増強事業主任 伊藤 幾夫 (東京多摩みなみ)

4 月には、下記の方が入会されました。(敬称略)

No.	新入会者 (クラブ名)	紹介者
1.	杉山 博恵 (御殿場)	休会復帰
2.	杉山 将己 (御殿場)	休会復帰
3.	秋元 美晴 (横浜)	古田/古賀
4.	青木 英幸 (横浜)	担当主事
5.	内田 良幸 (甲府 21)	宮岡 宏実
6.	清水 公一 (甲府 21)	宮岡 宏実
7.	戸田 秀幸 (甲府 21)	宮岡 宏実
8.	日野 東亜子 (横浜つるみ)	久米 康子
9.	菅原 英徳 (熱海)	山崎 英史

▼ 第5回 拡大EMC事業委員会 報告

会員増強事業主任

伊藤 幾夫 (東京多摩みなみ)

日時：2021年4月7日(水)

19:00~20:50

場所：Zoom 会議

出席：合計 23 名(下線は委員長)

《EMC事業委員会=会員増強事業主査》5名

伊藤幾夫、札埜慶一、関東東

部：浅見隆夫、あずさ部：野々垣健五、湘南・沖縄部：千葉裕子

《エクステンション委員長》2名

あずさ部：菰渕光彦、湘南・沖縄部：辻剛

《部長》4名

北海道部：中村義春、関東東部：柿沼敬喜、あずさ部：御園生好子、富士山部：伊藤一芳

《Change! 2022 推進委員会》9名(2名は重複)

石田孝次、伊丹一之、伊藤幾夫(重複)、栗本治郎、中村孝誠、藤井寛敏、札埜慶一(重複)、宮内友弥、山田敏明、

《オブザーバー》5名

板村哲也(区理事)、小山久恵(区書記)、佐藤重良(区次々期理事)、高田一彦(JEF 委員長)、山下真(区 LT 委員長)

【報告】

司会は伊藤幾夫(会員増強事業主任)が担当。東日本区理事板村哲也さんの開会挨拶のあと、Zoom 会議出席者を名簿順にひとり 5 秒程度で顔見せ自己紹介。

議事①は、第 4 回拡大事業委員会報告、事前に送付した報告書で確認しました。

議事②は、中期(2020.11~2021.3) EMC 活動報告。これも事前に送付した資料で確認しました。コロナ禍の影響で会員増強は厳しい状況となっています。今年に入って新入会は 1 月 5 名、2 月 0 名、3 月 1 名と低迷しています。そんな中、甲府 21 クラブの健闘(3 月 1 名、4 月 3 名入会)が注目されます。

議事③は、「4 月以降の会員増強」に向けて、伊藤(会員増強事業主任)から、重点的な会員候補として、女性会員、YMCA スタッフおよびスタッフ OB/OG、YMCA リーダー OB/OG をあげました。とくに、

女性会員については、東日本区の女性会員比率が現在約 22%であり、アジア太平洋地域の 40%と比べてもかなり低い比率となっています。それぞれについて、入会しやすい環境を整えることが必要ではないか、具体的には、会費の軽減措置(半額など)を講じたらどうかを提言させていただきました。

議題④は、各部での EMC イベントについての報告をいただきました。2/20(土)東新部「EMC セミナー Zoom」、3/28(日)関東東部「EMC を考える集い Zoom」の 2 つが報告されました。どちらも 50 名ほどの参加者があり盛会でした。Zoom を利用すると、部を超えての出前講座も可能ですので、他の部での開催も呼びかけました。

議事⑤は、各部のエクステンション(以下 EXT) Zoom 会議等の状況および新クラブ設立進捗状況の報告がありました。

北海道部では、未だに動きがないとのこと。

北東部は、欠席のため報告はありません。

関東東部では、3/28 に EMC イベントを開催、茨城 YMCA 宮田総主事の働きかけもあり、牛久地域に行政との連携の可能性が見えてきたということで、新クラブ設立の準備が始まるとのことです。

東新部では、以前から動いている新宿地域に早稲田教会の聖歌隊のメンバーを含めた新クラブを模索しているが、コロナの影響で停滞状態。

あずさ部では、4/12(月)に第 4 回 EXT 会議を開催。甲府クラブ主導の甲府駅北口方面に新クラブ設立の予定があり、また、東京都文京区に東京 YMCA 午餐会の関係者を候補とする「アフタヌーンクラブ」を模索しているとのこと。

湘南・沖縄部は、3/25(木)に第 7 回 EXT 会議を開催、「つながりマスク」作成や「絵本の読み聞かせ」活動などを通して、入会者につなげていきたい。

富士山部では、EXT の動きはないとのこと。

最後に、佐藤重良次々期理事(甲府 21)から閉会挨拶をいただきました。「甲府 21 クラブでは 6 年前は会員 16 名でしたが、現在 46 名です。会員増の理由は、ワイズ活動の活発化が一番ではないでしょうか」と締めくくられました。

次回は第 6 回委員会：6 月 2 日(水) 19:00~20:30 Zoom 会議(偶数月 第 1 水曜日)